**R２補正**

**公募中**

IT導入で業務効率化･コロナ対策をしたい

# サービス等生産性向上IT導入支援事業「IT導入補助金2021」

資料８

**補助金**

**IT導入補助金事務局** → 支援 → **中小企業・小規模事業者等**

【トピックス】
IT導入補助金2021の交付申請を受け付けております。（通常枠・低感染リスク型ビジネス枠とも）

| | |
|---|---|
| 中小企業 | ● |
| 小規模 | ● |
| 支援機関 | ● |
| 自治体 | |
| その他 | |

「IT導入補助金2021」事務局HP　https://www.it-hojo.jp/
チラシ(公募予告)　https://seisansei.smrj.go.jp/pdf/0103.pdf

**支援概要**

・バックオフィス業務の効率化やデータを活用した顧客獲得など、生産性向上やコロナ対策に繋がるITツールの導入を支援します。
※飲食、宿泊、小売･卸、運輸、医療、介護等のサービス業の他、製造業や建設業等も対象。

**公募期間**

公募期間：令和３年４月７日～終了時期は後日案内予定
次回締切：令和３年９月30日17時予定（３次公募〆切り）
※４次公募〆切予定：１１月中旬予定

| 事業類型 | 通常枠 | | 低感染リスク型ビジネス枠 | |
|---|---|---|---|---|
| | A類型 | B類型 | C類型（低感染リスク型ビジネス類型） | D類型（テレワーク対応類型） |
| 下限額 | 30万円以上 | 150万円以上 | 30万円以上 | 30万円以上 |
| 上限額 | 150万円未満 | 450万円以下 | 450万円以下 | 150万円以下 |
| 補助率 | １／２以内 | | ２／３以内 | |
| 補助対象経費 | ソフトウェア、クラウド利用費、専門家経費等 | | ソフトウェア、クラウド利用費、専門家経費等 ※PC･タブレット等のレンタル費用含む | |

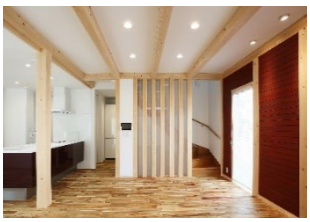
※事業計画期間において「給与支給総額が年率平均1.5％以上向上」「事業場内最低賃金が地域別最低賃金＋30円以上」を満たすこと等を加点要件（一部事業者等については必須要件）とします。

**参考情報**

～旧「特別枠」が「低感染リスク型ビジネス枠」に改編予定～
✔ 以下の２類型で構成され、補助率は２／３に統一。
✔ 「低感染リスク型ビジネス類型」は販売管理・労務など複数の業務プロセスを「非対面化し一層の生産性向上を図るITツールの導入」を支援。
✔「テレワーク対応類型」は生産性向上のための「テレワーク環境の整備」に寄与する「クラウド型のITツールの導入」を支援。

**活用事例**

**院庄林業住宅(株)【建設業】**（岡山県津山市）
～コロナ禍での非対面ビジネスを実現！図面クラウド共有により取引先との打合せが円滑に！～


※同社HPより引用

**IT導入のきっかけ・課題**
・社外取引先との情報やりとりが「紙ベース」で打合せ時の共有ミスが発生していた。
・働き方改革として、在宅勤務も可能な労働環境整備の必要性を感じていた。

**IT導入のポイント**
・「紙ベース」の情報をクラウド上で管理。情報共有機能で遠隔打合せも円滑に。

**導入による効果**
・施工図面や現場写真など紙ベースの情報をクラウド上で管理することで、施主や建設協力業者との遠隔打合せが円滑に行えるように。社員の在宅勤務も可能に。

（その他の事例）https://www.chugoku.meti.go.jp/topics/ryutsu/210322.html

**お問合せ先：中国経済産業局　産業部　流通･サービス産業課　(082-224-5655)**

# 運送事業者におけるＩＴ補助金活用による経営課題解決のヒント

悩み 01

【運転代行業】
事務所の電話オペレーターは、お客さまからの代行車予約、配車の到着連絡、運転手からのお問い合わせなど数多くの電話を受けなくてはなりません。オペレーターの社員が休憩も取れないほど電話が鳴り続けることも多くあります。

## おすすめITツールの機能

顧客管理と配車管理を連携させるツールを導入。その上で全運転手にスマートフォンを用意し、予約情報や位置情報を送信する環境を整備。

## 導入効果

オペレーターが予約を受ける際、**顧客管理ツールから過去の予約情報を参照**。お客さまから「いつものところへ来て」という予約を受けても、簡単に場所の特定ができるようになり、1本の**予約電話の受け答えにかかる時間が短縮**されます。
予約情報は運転手に持たせたスマートフォンのアプリへ情報を送信。地図情報も送信できます。
また、お客さまに依頼された場所へ運転手が到着したら、そのお知らせをオペレーターがお客さまに電話をするという流れをとっている場合、**運転手がスマートフォンから自らお客さまに連絡**できるので、場所がわかりづらいなどのお問い合わせも、お客さまと運転手が直接やり取りすることができ、スムーズに完結させられます。
これらによって**オペレーターの業務負荷はかなり軽く**なり、落ち着いてお客さまからの予約連絡を受けられるようになることでミスの減少も期待できます。

悩み 02

【運送業】
売上や経費など、数字データは拠点ごとに行っています。各拠点から集めたデータの統合は手入力で行っているため入力に時間がかかり、リアルタイムで売上状況を把握できません。

## おすすめITツールの機能

運送業に特化したバックオフィス業務を支援するツールを導入。

## 導入効果

各地に散らばる配送拠点。売上や経費などのデータを拠点ごとのルールで管理していると、情報を統一することにも時間がかかってしまいます。また各拠点から集められたデータを手入力で転記し、集計するのは時間がかかるだけでなく、入力ミスも発生しがち。これらの問題は、**情報を一元化して管理**することで解決できます。
ツールの導入により、統一された条件のもと各拠点がデータを入力。一元管理されたわかりやすい情報をリアルタイムに確認できるようになったことで、経営状況の把握も容易に。**得られた情報を配車管理などにすぐフィードバック**することも可能となり、データ管理にかかる時間の短縮とコストの削減に繋がります。
また煩雑だったさまざまなデータが整理されたことで、**顧客対応のレスポンスも向上**し、信頼度も高まります。

悩み 03

【運送業】
車両やドライバーのスケジュール管理や運行計画、運賃の設定は社長の長年の経験と勘によって管理されています。社長が出張などで不在になっても業務を進められる環境を作りたいのですが……。

## おすすめITツールの機能

GPS追跡機能などを導入することで、最適な運行計画や運賃を設定できる環境に。

## 導入効果

的確な運行計画を立てることは、運送業の事業を円滑に行う上で欠かせないことです。ヒト・モノ・カネの関係を整理することで、より効率のよい運行計画を立てることが求められるでしょう。
ベテラン社員の経験による計画策定だけに頼らず、若手社員でも運行計画の作成を担当できるスキルを磨く必要があります。それには**ドライバーの日々の業務をデータ化**していくことが必要です。車両に搭載した**GPSの追跡機能を活用し、移動距離や時間を確実に把握**できれば、原価の管理も正確に行えるようになります。これらの情報を整えることによって、数字という**明確な基準をもとにした価格設定や運行管理を実施**できるようになり利益も向上。ドライバーの運転時間の管理もしやすくなるので、残業が発生することも少なくなります。

悩み 04

【運送業】
社員の給与や勤務時間、売上の管理などはこれまでExcelを使用してきましたが、経理担当者によって管理のルールが異なるので問題になっています。これら経理の情報、ドライバーの台帳や実績などをわかりやすく、公平に管理したいです。

## おすすめITツールの機能

運送業に特化したバックオフィス業務をサポートするツールを導入。

## 導入効果

経理を担当する社員ごとに独自のルールをもって管理されていた社員の給与や勤務時間。これらのデータ入力の法則を、**運送業の業務内容のサポートに特化したツール**によって管理し、統一されたルールに則って入力できる環境を整備します。
運送業ならではの書類である**運転者台帳や貨物自動車実績報告書、車両整備報告などの管理**もスムーズに。また情報が整理されたことで、ツールを通して車両メンテナンスのタイミングなどの通知も行われるようになり、**運転業務の安全性**も高まります。
さらに請求の場面でも、荷主に合わせた請求フォームをカスタマイズして作成できるようになり、**帳票の作成にかかる時間も軽減**。荷主の業務に寄り添った請求フォームを用意することで、サービスの向上にも繋がっていきます。

悩み 05

【運送業】
ドライバーが配送に行った先で、新しい仕事を受注することがあります。配送業務終了後にオフィスに戻り新規案件の報告を行い、伝票を作成することが負担です。

## おすすめITツールの機能

顧客情報や商談情報を社内で共有できるシステムを導入。

## 導入効果

毎日の配送業務を終えてから、オフィスに戻って伝票や日報の作成を行っていると、ドライバーの残業時間が長くなってしまいます。これらの情報をクラウドで管理できる環境を用意すれば、ドライバーは**配送業務の空き時間にタブレット端末などを使って伝票や日報を作成**し、リアルタイムでオフィスの**スタッフに報告・共有**できるようになります。配送スケジュールの合間に発生する**待ち時間を有効に活用**することで残業が減るだけでなく、ワークライフバランスも向上するでしょう。
また配送現場で得た取引先の最新情報を速やかに営業担当やオフィススタッフに報告できる環境が整えば、**取引先のニーズや環境変化にも即座に対応**することが可能です。取引先との信頼関係が強固になることも期待できます。

悩み 06

【運送業・観光バス】
ドライバーの運転時間や健康の管理は、運輸業にとって最重要となる課題のひとつです。ドライバー本人からの報告だけに頼らず、もっと効率良く確実に勤務状況を把握するにはどうしたらよいでしょうか。

## おすすめITツールの機能

デジタルタコメーターの情報とドライバーによる運行状況の報告を連動させるツールを導入。

## 導入効果

お客さまや荷物を安全に目的地まで運ぶ。それにはドライバーが過労運転することなく、適正な運転時間を守り、健康に日々の業務を行うことが前提です。
従来は紙や口頭でドライバーの運行状況や健康状態を管理していた環境から、**クラウド上でさまざまなデータを管理**できるツールを導入。**ドライバーはタブレット端末やスマートフォンを使って定期的に現場から運転の状況を報告**し、さらにツールが**デジタルタコメーターの情報を取得**し、これらふたつのデータを連動させることで、**リアルタイムに運行状況が把握**できるようになります。このツールにより、**安全で無理のないドライビング**ができているかを確認しやすくなり、社内全体の安全性が向上。ドライバーの働きやすさに繋がっていきます。

悩み 07

【運送業】
ドライバーの労働時間の管理は、アナログタコグラフで管理しています。記録のデータがアナログなので紙を使って管理をしなくてはならず、データの管理や整理に時間と手間がかかってしまいます。

## おすすめITツールの機能

運行・要員管理

労務

アナログタコグラフを読み取り、デジタルデータ化できるツールを導入。ドライバーの稼働時間の自動認識を実現。

## 導入効果

紙に記録されたアナログタコグラフの情報を読み取るには時間とコツが必要です。従来は人の目で記録を読み取り、手入力でまとめていたこれらの作業を、ツールの導入によって**デジタルデータとしてスキャン**。アナログで記録された情報をデータ化することで、紙での記録を保存する必要がなくなり、**ドライバーの走行履歴の保管がしやすく**なります。**過去の走行履歴の情報が必要となったときも、すぐに検索**してピックアップできるという利点も。さまざまな情報の入力や処理にかかっていた時間が軽減されます。
さらにデジタルデータ化により、**記録された情報の分析もスムーズ**に行えるように。長距離運送管理や稼働状況の集計など、運送業ならではのデータを速やかに分析できるので、ドライバーの運転時間や休憩時間の把握も容易になるでしょう。

時間削減

働きやすさ

代表取締役社長 松島範明氏

No.6

運輸業
一般貨物自動車運送

# 山陽トラック 株式会社

広島県

## 届け先が多数ある地域内の集配事業
## 大量の事務作業をITで省力化・自動化

### プロフィール(IT導入補助金申請時)

- 住所　：広島県三原市明神5-2-1
- 設立　：1960年
- 従業員数：68名
- URL　：http://www.santora-h.co.jp/

IT化にあたり多数の『送り状』の処理が課題でしたが、解決方法が見つかりました

効率化はもちろんのこと、データをしっかり分析して、今後の経営に活かしたい

代表取締役社長
松島範明氏

### 事業者の特色

- 広島県三原市を本社に、東は尾道、西は東広島、北は世羅まで、地域内の集配業務を担う。本社以外に営業所が4か所ある。保有トラックは60台
- 大手運送会社が夜間運送して朝、各拠点に卸した荷を、届先ごとに仕分けして自社トラックに積み込み、地域の企業・住宅へ届けるスタイル。長距離運送はない代わりに、近距離に多数の届け先がある。当日配送する荷物の量は、荷が下ろされて初めて判明する

運輸業
一般貨物
自動車運送

## 山陽トラック 株式会社

### 経営課題

- 社員の平均年齢が上がっているものの、人材確保が難しい状況である。顧客の状況に左右される業務ではあるが、できるところから業務効率を上げたい
- 配送手配や請求業務は拠点ごとに行っており、本社への報告は週1回。今後は本社から日々の業務状況をつかめるようにしたい
- 1か所に長距離輸送するケースと比べ、配送先が多いため、下記のように日々の事務処理が煩雑である
- 多くの手作業による事務処理のプロセスがあり、ミスが起きやすい状況である

①大手運送会社の荷が着くと、配送先ごとの1回平均100枚の『送り状』と配送指示原票(手板)が渡される。手板には運賃が記載されている
②配送の振り分けを決め、『送り状』をドライバー(トラック)別に仕分けして、ドライバーに渡す(荷物もトラックごとに仕分け)
③配送完了後、ドライバー別の『送り状』と手板の単価を参照して運転実績を作成(トライバーの賃金の元となる)
④取引先から支払い金額の確認書が到着したら、配送履歴と照合して漏れがないかチェックする

### IT活用による改革

#### IT導入の経緯・きっかけ

- 事務負担が多く、拠点の状況がわかりにくいことから、ITツールの導入を考えていた。社長はITへの抵抗感を持っていないが、費用面と各拠点で使いこなせるかどうかが懸念事項であった
- 運送業の業務システムを提供しているITベンダーより、営業訪問があった。何度か現状の課題を話した後、ITツールによる解決策の提案を受ける。請求書やドライバーの実績作成など、業務が効率化できるとわかったが、一つ課題が残った。システム化にあたり必要となるデータ入力である。毎日大量の『送り状』を扱うため、入力に新たな労力がかかってしまう。この点について、ITベンダーより『送り状』のバーコードを読み込みデータ化するカスタマイズの提案があり、さらにIT導入補助金が使えることを知り、導入を最終決定した

#### IT導入補助金認知経路

- ITベンダーからの紹介。申請に際しサポートも受けられた

#### ITツールの特徴

- 運送業の業務プロセスを熟知して構築したITツール。日報管理を中心に、売上管理や運転者管理等の機能を備える。オプションでデジタコやETCのデータ連携も可能
- メーカー直販の強みを生かし、運送業をよく知る営業担当者が提案を行っている
- 一度の入力で関連する業務処理や帳票にデータを反映できる。二重入力を排して業務の効率を上げる

#### ITベンダーへの感想

- タイミングよく案内があり、業務状況や課題などをしっかり聞いた上で的確な提案があった
- 電話サポートに加え、パソコン画面を見ながらオンラインでアドバイスを得られるリモートサポートも提供されているので、安心して導入できた
- まだまだ使いこなしていない機能があるので、継続的に活用法を教えてもらい、活かしていきたい

### 経営上の効果

- 多数の『送り状』をスキャナーで読み取り配送情報を効率的に登録し、パソコン上で配送の振り分けが可能になった
- 配送完了後、運転手別に『送り状』を仕分けした後は、請求書、ドライバーごとの実績作成が自動で行われる。また、輸送実績報告書も入力なしで自動作成でき、業務効率が向上した
- 4拠点をVPN(セキュリティを確保した拠点間の接続)でつなぎ各拠点の情報がいつでも確認可能に。データをダウンロードして経営分析に利用している
- 新しい取引先情報をシステムへ入力するときはすべて本社で行うなど、一部業務の進め方を見直して拠点独自のルールを廃止。データの統一性確保や一層の効率化を実現できた

### 導入したITツール

株式会社オーユーシステム
「車楽Ver7」
(運送業向け統合型業務ソフトウェア)
http://www.ous.co.jp/syaraku/

- IT導入支援事業者
  内田洋行　IT導入支援コンソーシアム

取材後にお伺いしました！

### 数字で見る指標

配送指示と配車情報の作成・運賃計算及びドライバー別の仕分け作業
月間平均作業時間の削減
1か月あたり38%削減

車両別の経費・輸送実績報告書の集計作業
月間の平均作業時間24時間→0時間

運輸

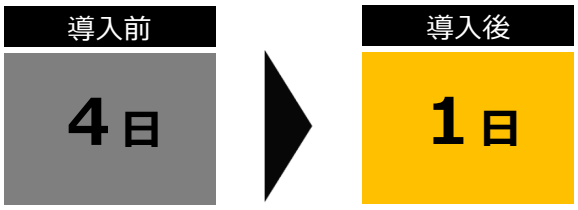
# 狭山貨物運輸株式会社

「匠」をキーワードに、重機・機械、樹木などの専門技術を必要とする運送サービスを提供
クラウド型会計システムの導入で各拠点がつながり、情報の「見える化」と業務効率化を実現

## 組織概要

所在地：埼玉県狭山市入間川3146-2
設　立：昭和40年5月
従業員：111名
ＵＲＬ：http://www.sayamakamotsu.co.jp/

### 数字でみるIT導入の効果




本社における月次経理処理所要日数

## IT導入のきっかけ

**4拠点の経理業務を本社のみで行っており、業務効率化とBCP対策が長年の課題だった**

- 本社以外の4拠点の経理業務を本社のみで行っていたため、各拠点からの書類の収集・入力作業や月末の経理処理が集中していた。この非効率な状態は30年以上にわたって続いており、効率化が長年の課題だった。本社一極集中の解消は、BCP対策の面でも課題だった。
- 税理士事務所から今回導入したITツールを紹介された。課題解消が期待できるものの投資判断のタイミングが見計らっていたところ、税理士事務所からIT導入補助金を教えてもらい、導入を決断した。

## 取組みの内容

**各拠点に経理処理を分散させるため、クラウド型会計システムを導入**

- クラウドサービス型会計システム「FX4クラウド」を導入した。

＜導入の進め方＞

- 取締役（総務部長）、税理士、支援事業者の三者で導入を進めた。
- 教育に関しては、支援事業者が各拠点を回ってサポートを行った。
- 平成29年6月から新システムの運用を開始。決算時期にあわせた良いタイミングでの移行となった。
- 導入を予定していた3拠点のうち1拠点は現在未導入だが、運用体制や組織の見直しを行った後、導入を予定している。

## 効果

**クラウド化により各拠点がつながったことで、経理情報の「見える化」と経理業務の効率化を実現**

- クラウド化によって各拠点がつながったことで、経理情報が日々「見える化」され、従来生じていたロスタイムもなくなった。
- 業務効率化によって時間に余裕が生まれ、これまで手が回っていなかった経営資料の作成や、営業情報の社内共有に時間を割くことができるようになり、業績にも好影響を与えている。
- 毎月4日程度かかっていた経理処理が、現在は1日弱に短縮するなど、営業所と本社間の情報共有と経理処理の時間短縮につながった。

| ITツール | FX4クラウド | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| メーカー | 株式会社TKC | | | | |
| 支援事業者 | TKC全国会 | | | | |
| コミュニケーション | | 給与 | | 決済 | |
| 顧客管理 | | 原価・業務管理 | ● | 人事・シフト | |
| 財務・会計管理 | ● | 販売・店頭 | | 予約 | |

狭山貨物運輸株式会社

# 誠和梱包運輸(株)【運輸業】<平成28年度補正>

- **各種企業の物流業務（生産管理から出荷まで）を3PL※事業として一括受託。また、独自開発した配車システムも活用し、年々売上を増やしている。**
- **年々増加する従業員の労務管理面での業務効率化を目指し、IT導入補助金を活用。**

※3PL（third party logistics）とは、荷主企業に代わって、最も効率的な物流戦略の企画立案や物流システムの構築の提案を行い、かつ、それを包括的に受託し、実行すること。

## ✓ 企業概要

企業名：誠和梱包運輸(株)

業種：運輸業

住所：広島県呉市郷原町
字一ノ松光山626-12

従業員数：465名

資本金：1,000万円

## ✓ 導入のきっかけ・課題

・売上拡大、中途人材も含めた社員数増加に伴い、労務管理事務が慢性的なオーバーワークとなっており、業務効率化の方策を模索していた。

・出入りの販売代理店から、上記課題を解決可能なITツールとIT導入補助金制度を紹介され、労務管理事務を効率化できるならと導入に踏み切った。

## ✓ 導入したITツール

◆導入したツール

※（株）オービックビジネスコンサルタントHPより引用。

給与・人事奉行ｉ 10NETWORK Edition Type NP

◆提供する企業

(株)オービックビジネスコンサルタント(東京都新宿区)
（販売代理店：(株)呉電子計算センター（呉市））

◆ツール機能

人事、労務、給与、福利厚生、教育、法令、
文書証憑管理

## ✓ 生産性向上の取組のポイント

**1．給与処理全般の業務効率化に取り組んだ。**

**2．担い手不足から採用した中途人材も含めた人事マネジメントを検討。**

## ✓ ITツール導入による効果

**1．３０時間/月の勤務時間削減。**

短納期で誤りの許されない、給与・年末調整入力事務について、内勤職員の時間外労働時間の大幅削減に成功した。

**2．人事情報の「見える化」により、人事マネジメントの向上を目指す。**

担い手不足から近年採用した中途社員と新卒社員との人事・給与面でのバランスや、可視化情報に基づいた全社的な適材配置の検討が可能になり、社員がさらに活躍できる組織づくりのための一助となった。

４００台以上の自社保有車両を持つ。

交通安全教室等の地域貢献活動にも取り組む。

給与処理事務の効率化を実現。